

令和6年度

大学院医学系研究科
看護学専攻(修士課程)

学生募集要項

[一般選抜・社会人特別選抜]

令和5年5月



入試日程の概要

令和6年度 第1回		令和6年度 第2回 (第1回入学試験により定員を満たした場合、実施しないことがあります。)	
出願資格審査申請期間	令和5年6月26日(月)～30日(金)	出願資格審査申請期間	令和5年11月20日(月)～24日(金)
出願期間	令和5年7月31日(月)～8月4日(金)	出願期間	令和6年1月4日(木)～10日(水)
試験日	令和5年9月1日(金)	試験日	令和6年1月19日(金)
合格者発表	令和5年9月22日(金)	合格者発表	令和6年2月19日(月)
入学手続期間	令和5年9月25日(月)～29日(金)	入学手続期間	令和6年3月13日(水)～18日(月)

目次

I.	受験案内	
1	教育理念・目標	1
2	特色	1
3	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
4	募集人員	2
5	募集教育研究区分・担当教員等	3
6	入学の時期	3
7	出願資格	3
8	出願資格審査	4
9	出願手続	5
10	障がいのある入学志願者等の事前相談	9
11	入学者選抜方法	9
12	合格者発表	10
13	入学手続	10
14	個人情報の利用	10
II.	医学系研究科（修士課程）案内	
1	目的	12
2	修業年限	12
3	入学定員	12
4	授業科目及び単位数	12
5	教育研究区分別研究概要及び担当教員の連絡先	12
6	長期履修制度	12
7	大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例	12
8	学位	12
III.	入学案内	
1	入学料免除及び徴収猶予	13
2	授業料免除及び徴収猶予	13
3	大学院入学時成績優秀による授業料免除	13
4	奨学金制度	13
5	保険制度	13
	[別表1] 授業科目一覧表	14
	[別表2] 教育研究概要	15

<注意>

- 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。（巻末参照）
- 受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

[福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]

I. 受験案内

1 教育理念・目標

21世紀の社会で活躍できる優れた人材、高度専門職業人を育成します。

- ① 高度な知識を有し、科学的・論理的な思考で高い水準の医学系研究を遂行・発信できる研究能力を有する看護学研究者
- ② 先端的で高度専門的な臨床技能を提供できる実践能力を有する看護職
- ③ 地域、国及び国際医療に貢献ができる臨床研究能力や教育的指導力を備えた質の高い高度実践看護師

2 特色

研究を通じ人類に対する高い倫理観と、豊かな人間性の涵養を目指し、看護学領域を主として構成されています。

また、学びやすいように長期履修制度や昼夜開講制度を設けています。

- ① 基礎看護学において、あらゆる看護場面に共通した看護過程の展開と看護技術、および看護管理、看護理論に関する研究を行っています。
- ② 成人看護学において、慢性病患者の生活と病いの体験、手術・救急などクリティカルな状況における看護の役割、がん患者の理解とQOLについて探求し、対象理解を基盤とした看護ケアに関する研究を行っています。
- ③ 災害看護学において、災害による人々の健康や生活への影響、被災者特性、活動現場特性を踏まえ、各災害サイクルにおける被災者に対する援助方法について研究を行っています。
- ④ 地域看護学において、生活者としての個人、家族、集団が健康な生活を送るための看護支援、地域ケアシステムの構築について研究を行っています。
- ⑤ 老年看護学において、高齢者の発達特性を基盤に、自分らしい生活の維持やQOL向上に向けたケアを探求し、自律に向けたセルフケアおよび家族支援などの研究を行っています。
- ⑥ 母子看護学において、母子を取り巻く健康問題や心身の健全な育成、助産師活動評価、周産期看護など、女性と家族のライフサイクルを視点とした研究を行っています。
- ⑦ がん看護専門看護師教育課程では、がんに関する専門的知識を深め、エビデンスに基づく、的確な臨床判断を行い、熟練した高度なケア技術とキュアの知識を用いた高度な看護実践を追究します。
- ⑧ 災害看護専門看護師教育課程では、個人・家族・組織・地域における防災・減災に向けた諸活動について人間科学の視点から探求すると共に、高度な災害看護の能力を有する専門看護師の育成を行っています。
- ⑨ 老年看護専門看護師教育課程では、複雑で多様な健康問題をもつ高齢者とその家族が尊厳のある質の高い生活を送れるよう、多角的なアセスメント能力、QOL向上に向けた卓越した高度な看護実践能力を有する専門看護師の育成を行っています。

3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

福井大学大学院医学系研究科修士課程では、豊かな人間性と高い倫理観、幅広い知識と理論に基づく根拠のある技術力を有し、高度専門的看護ケア実践能力を備えた看護職のリーダーとなる人材を育成し、地域保健医療福祉に貢献できる看護職および看護学を体系化・深化させる研究を遂行できる指導的役割を担う教育・研究者を養成することを目的に掲げており、以下の能力を有する人を入学生として受け入れます。

1. 求める学生像

1-1. 能力、意欲等

- (1) 豊かな人間性と高い倫理観、幅広い知識と理論に基づく根拠のある技術力を有する人
- (2) 高度専門的看護ケア実践能力を備えた看護職のリーダーとして、地域保健医療福祉に貢献できる人
- (3) 看護職および看護学を体系化・深化させる研究を遂行できる指導的役割を担う教育・研究者として、地域社会や国際社会に貢献する強い意欲を有する人
- (4) 周囲との協調性、奉仕の精神を有する人

1-2. 入学までに学習・修得しておくことが期待される内容

- (1) 大学を卒業またはそれに準ずる教育課程あるいは社会生活において、看護学の知識・技能・洞察力を獲得していること
- (2) 正確な文書読解、論理的な記述、適切な表現など、看護学を体系化・深化させる研究を進めるための基本的な言語運用能力を身に付けていること

2. 入学者選抜の基本方針

求める学生像を踏まえて、多様な観点から受験者の学力や資質を公平かつ多面的・総合的に評価することで、入学者を選抜します。

(1) 一般選抜

大学を卒業した者および同等以上の学力があると認めた者に対し、成績証明書、研究計画書、口頭試問および英語能力試験で評価して選抜します。

研究計画書、口頭試問および英語能力試験では、志望する教育研究区分の専門的知識、語学力、大学院で学ぶ意欲、適性、看護に対する姿勢、目的意識等を総合的に評価します。

(2) 社会人特別選抜

大学を卒業した者および同等以上の学力があると認めた者で、看護師、保健師または助産師の免許を有し、一定期間の看護実務経験を有する者に対し、成績証明書、研究計画書および口頭試問で評価して選抜します。

研究計画書および口頭試問では、志望する教育研究区分の専門的知識、論理的思考力、大学院で学ぶ意欲、適性、看護に対する姿勢、目的意識等を総合的に評価します。

4 募集人員

看護学専攻

第1回、第2回合わせて 12名（「社会人特別選抜」含む）

*第1回入学試験により定員を満了した場合、第2回入学試験を実施しないことがあります。

5 募集教育研究区分・担当教員等

教育研究区分		担当教員	連絡先
基礎看護学		長谷川 智子	0776-61-8554 hasekatz@u-fukui.ac.jp
成人看護学		磯見 智恵	0776-61-8549 ichie@u-fukui.ac.jp
災害看護学		佐藤 大介	0776-61-8556 satodai@u-fukui.ac.jp
地域看護学		長谷川 美香	0776-61-8566 mikah@u-fukui.ac.jp
老年看護学		四谷 淳子	0776-61-8557 jyotsuya@u-fukui.ac.jp
母子看護学		波崎 由美子	0776-61-8573 yuminami@u-fukui.ac.jp
専門看護師教育課程（CNS）	がん看護	磯見 智恵	0776-61-8549 ichie@u-fukui.ac.jp
	災害看護	佐藤 大介	0776-61-8556 satodai@u-fukui.ac.jp
	老年看護	四谷 淳子	0776-61-8557 jyotsuya@u-fukui.ac.jp

出願を希望する者は、事前に志望する教育研究区分の担当教員に連絡を取り、入学後の教育・研究等について相談してください。

なお、教育研究区分別の研究内容については14～15ページ[別表1～2]を参照してください。

6 入学の時期

令和6年4月

7 出願資格

(1) 一般選抜

- ① 大学を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において位置付けられた教育施設

設であって前記⑤の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
 - ⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、若しくは我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - ⑩ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
 - ⑪ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者(短期大学、専修学校、各種学校等を卒業後、看護学関係の教育・研究機関又は医療機関で一定期間教育、研究、実務に従事した者は本項に該当します。)
- 注：出願資格⑨～⑪により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の認定が必要になります。

4ページの「8 出願資格審査」を参照してください。

(2) 社会人特別選抜

「(1) 一般選抜」の出願資格のいずれかに該当する者で、看護師、保健師又は助産師の免許を有し、令和6年4月1日時点で、看護実務経験3年以上を有する者及び有することを見込める者

8 出願資格審査

出願資格「(1) 一般選抜」の⑨～⑪に該当する者については、次の要領により事前に出願資格の認定を受けてから出願してください。

(1) 提出書類等 (*印は本研究科所定の様式)

本研究科所定の様式は本学のホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」から入手してください。

ア 出願資格⑨、⑩により出願する者

提出書類等		摘要
*	1 出願資格認定申請書	出願資格認定申請書の記入上の注意を参照のうえ、作成してください。
	2 成績証明書	在籍する大学(学部)の成績証明書で大学長等発行のもの
	3 在学証明書又は 在学期間証明書	在学中の者は在学証明書、退学した者は在学期間証明書
	4 在学する学部・学科等の 教育内容	授業科目、単位数、必修・選択の別、履修年次、その他履修要件が明記されているもの
	5 返信用封筒	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84円分の切手を貼付してください。

イ 出願資格⑩により出願する者

提出書類等		摘要	
*	1	出願資格認定申請書	出願資格認定申請書の記入上の注意を参照のうえ、作成してください。
	2	成績証明書	最終出身学校の成績証明書で学校長等発行のもの
	3	卒業証明書又は 修了証明書	最終出身学校の卒業証明書又は修了証明書で学校長等発行のもの。成績証明書で卒業年月が確認できれば提出不要です。
	4	返信用封筒	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84円分の切手を貼付してください。

注：改姓により成績証明書等の氏名が異なっている場合は、改姓したことを証明できる書類（戸籍抄本など）を添付してください。

(2) 出願資格審査申請期間・方法

- ・令和6年度第1回入学試験 令和5年6月26日(月)～6月30日(金)
- ・令和6年度第2回入学試験 令和5年11月20日(月)～11月24日(金)

出願資格審査申請書類等の提出は郵送又は持参によるものとします。

郵送の場合は、申請書類等を封筒に入れ、封筒の表に「大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）出願資格認定申請書在中」と朱書きしたうえで、書留郵便で出願資格審査受付期間内に到着するよう送付してください。

持参の場合は、出願資格審査受付期間（土日祝日を除く）の9時から17時に提出してください。

(3) 出願資格審査申請書類等の問い合わせ・提出先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

(4) 出願資格の審査方法

出願資格審査は、提出された申請書類等により行います。

(5) 出願資格審査の結果通知

審査結果の通知書を、出願期間開始の2日前までに本人宛に送付します。出願資格を認定された者は、出願手続を行ってください。

9 出願手続

出願を希望する者は、事前に志望する教育研究区分の担当教員に連絡を取り、入学後の教育・研究等について相談してください。（3ページ「5 募集教育研究区分・担当教員等」並びに14～15ページ[別表1～2]参照）

(1) 出願期間・方法

- ・令和6年度第1回入学試験 令和5年7月31日(月)～8月4日(金) 最終日17時必着
- ・令和6年度第2回入学試験 令和6年1月4日(木)～10日(水) 最終日17時必着

① 出願書類は、市販の角形2号封筒（本学ホームページから「出願封筒用宛て名ラベル」をA4サイズでカラー印刷し、貼り付けたもの）に全て封入の上、郵送又は持参するものとします。

郵送の場合は、書留速達郵便とし、それぞれの出願期間最終日の17時必着であることに十分に配慮し送付してください。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち、令和6年度第1回入学試験は令和5年8月2日(水)、第2回入学試験は令和6年1月8日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

持参の場合は、出願期間（土日祝日を除く）の9時から17時に提出してください。

② 出願期間終了後に受験票を送付します。試験日3日前までに受験票が到着しないときは、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当（電話0776-61-8830）に問い合わせてください。

(2) 出願書類等（*印は本研究科所定の様式）

本研究科所定の様式 1, 2, 6, 10 は本学のホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」から入手してください。

提出書類等			摘要
*	1	入学志願票	本学ホームページから所定の様式を A 4 サイズ で両面印刷し、入学志願票裏面の記入上の注意を参照のうえ、必ず自書してください。
*	2	受験票 写真	本学ホームページから所定の様式を A 4 サイズ で印刷し、縦 4 cm×横 3 cm の写真（正面向き、無帽、上半身、無背景で出願前 3 か月以内に撮影したもの）を各 1 枚貼付してください。
	3	卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	出身大学（学部）の卒業（修了）証明書で、大学長等発行のもの。卒業（修了）見込みの者は卒業（修了）見込証明書を提出してください。なお、本学卒業者は、提出不要です。また、本学以外の卒業（修了）者であっても、成績証明書で卒業年月が確認できれば提出不要です。
	4	学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書	出願資格②に該当する者で大学評価・学位授与機構が証明したもの
	5	成績証明書	出身大学（学部）の成績証明書で、大学長等発行のもの
*	6	研究計画書	本学ホームページから所定の様式を入手し、志望する研究のテーマ及び目的、動機、内容（1,200 字以内）について記述してください。 ※A 4 サイズで作成してください。
*	7	出願確認票 （検定料支払の証明）	インターネット出願サイトにより手続 を行います。 入力、検定料支払後、 A 4 サイズでカラー印刷 し、提出してください。 7 ページ「(3) 検定料の支払方法」をご確認ください。
	8	返信用封筒 （受験票送付用）	市販の長形 3 号封筒（235 mm×120 mm）に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、 344 円分の切手 を貼付してください。

※ 出願資格の認定を受けて出願する者は、3 の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書及び 5 の成績証明書の提出は不要です。

※ 一般選抜により出願する者は、上記の出願書類等の他に、以下の書類を併せて提出してください。

提出書類等			摘要
	9	TOEIC® L & R 公式認定証	TOEIC の Official Score Certificate（公式認定証）のコピーを提出してください。 なお、スコアは令和 3 年 9 月 1 日以降発行のものに限ります。また、TOEIC-IP（カレッジ TOEIC）、TOEIC SW、TOEIC Bridge のスコアは認めません。 選抜試験日にスコアの原本確認を行うので、当日必ず持参してください。原本確認ができない場合は口頭試問の受験を認めないことがあります。 ※出願までに公式認定証の提出が間に合わない場合には、その旨必ず学務部松岡キャンパス学務課入試担当宛に連絡してください。

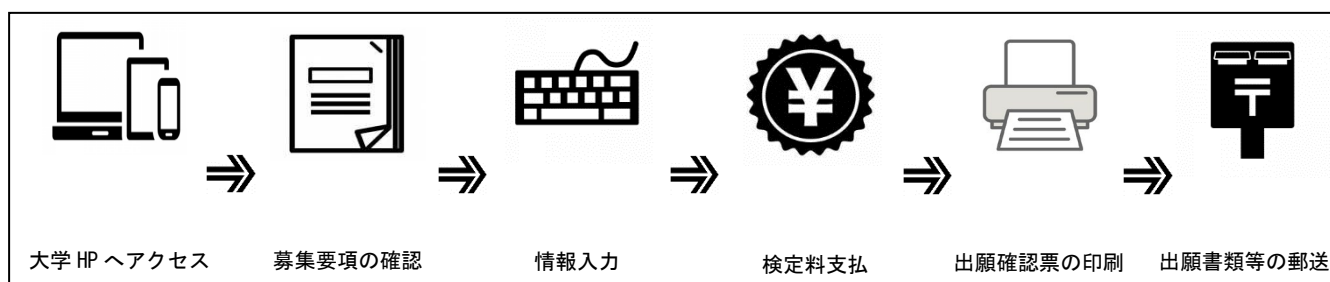
※ 社会人特別選抜により出願する者は、上記の出願書類等の他に、以下の書類を併せて提出してください。

提出書類等			摘要
*	10	受験許可証	在職のまま入学しようとする者は、出願に際して所属長の受験許可証を提出してください。 ※本学所定の様式以外での提出も可
	11	免許証の写し	看護師，保健師又は助産師の免許証の写し（A4サイズに縮小してください）
	12	在職期間証明書	在職時の職名，勤務時間を証明できる書類

注：① 提出の際には、本学ホームページから「出願封筒用宛て名ラベル」をA4サイズでカラー印刷し、市販の角形2号封筒（240 mm×332 mm）に貼り付け、出願書類を全て封入の上、提出してください。

- ② 改姓により成績証明書等の氏名が異なっている場合は、改姓したことを証明できる書類（戸籍抄本など）を添付してください。
- ③ 証明関係書類は、原本を提出してください。
- ④ 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類等の返還並びに記載事項の変更は認められません。
- ⑤ 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。
- ⑥ 出願書類等の記載が事実と相違していることが判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願資格審査において、卒業証明書（又は修了証明書）、成績証明書を提出した場合は、改めてこれらの証明書を提出する必要はありません。
- ⑧ 外国人留学生については、出願書類等が若干異なりますので、出願前に本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当にお問い合わせください。

(3) 検定料の支払方法



インターネットにより行います。支払完了には下記①～④のすべての手続きが必要です。

①インターネット出願サイトによる情報の入力

インターネット出願サイトへは、福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) からアクセスできます。

情報入力可能期間

- ・令和6年度第1回入学試験 令和5年7月24日（月）～8月4日（金）
- ・令和6年度第2回入学試験 令和5年12月18日（月）～令和6年1月10日（水）

*出願期間とは異なります。

②検定料の支払

検定料 30,000円

検定料の他に、支払手数料（自己負担）が必要です。

検定料の詳細は、以下を参照してください。

<検定料支払期間>

- ・令和6年度第1回入学試験 令和5年7月24日（月）～8月4日（金）
- ・令和6年度第2回入学試験 令和5年12月18日（月）～令和6年1月10日（水）

*出願期間とは異なります。

ただし、郵送による出願の場合、令和6年度第1回入学試験は令和5年8月4日（金）、第2回入学試験は令和6年1月10日（水）17時必着であることに特に注意して早めに支払ってください。

<検定料支払方法>

コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払）、クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club）及びネットバンキングのいずれかで支払可能です。

<支払に際しての留意事項>

- ア. 銀行窓口での支払はできません。
- イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
- ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
- エ. 支払手数料は、入学志願者本人の負担となります。

<支払に際しての留意事項>

オ. 出願書類等を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済みの検定料は返還しません。該当者は、速やかに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当に問い合わせてください。

(ア) 検定料を支払ったが、本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願書類等が受理されなかった）場合

(イ) 検定料を誤って二重に支払った場合

* 検定料の返還請求の方法

本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、A4サイズで印刷して必要事項を
もれなく記入した上で、必ず「出願確認票（提出用）」を添付して期限までに下記請求
先に提出してください。

掲載先： 本学ホームページ

トップページ>受験生の方へ>入試情報・募集要項>入学検定料返還・免除請求

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/exemption/

提出期限：令和6年3月29日（金）午後5時 必着

※様式は必ず大学院用を使用してください。記入漏れがある場合は受付できませんので
注意してください。

問い合わせ・請求（送付）先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

電話 0776-61-8830

③出願確認票、出願書類等の印刷・記入

④出願確認票等の全ての出願書類の郵送

(注) インターネットでの情報入力及び検定料の支払を行っただけでは出願手続完了とはなりません。

出願期間内に、出願書類を郵送（必着）することで完了となります。

10 障がいのある入学志願者等の事前相談

本研究科入学志願者で、疾病・負傷や身体障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願期間開始14日前までに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により身体に障がいを有することとなった場合には、速やかに相談してください。

11 入学者選抜方法

入学者の選抜方法は、提出された成績証明書、研究計画書、TOEIC Listening & Reading Test のスコア（一般選抜のみ）及び口頭試問の結果を総合して合格者を決定します。

(1) 口頭試問の期日

- ・令和6年度第1回入学試験日 令和5年9月1日（金）
- ・令和6年度第2回入学試験日 令和6年1月19日（金）

(2) 口頭試問の時間

科目等	時間	一般選抜	社会人特別選抜
口頭試問	13:00～	○	○

（備考） 一般選抜、社会人特別選抜ともに、看護に関する専門知識の口頭試問を行います。

(3) 受験上の注意事項

- ① 試験当日の集合時刻等の詳細については、出願期間終了後に出願者に対して連絡します。
- ② 集合時刻に遅刻した場合は、特別な理由がある場合を除き、受験を認めません。
- ③ 本研究科が課す口頭試問を受験しなかった場合は、失格となります。
- ④ 受験中は受験票を常に携帯してください。
なお、受験票を忘失・紛失（または破損）した場合には、係員に申し出て再発行などの措置を受けてください。
- ⑤ 計時以外の機能を持った時計の使用は認めません。なお、試験室には時計はありません。
- ⑥ 携帯電話・スマートフォン等の通信機器や音の出る機器は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、かばんに入れてください。また、試験監督者からの通信機器等に関する注意や指示に従わない場合は、不正行為とみなすことがありますので、留意してください。
- ⑦ 試験終了時までは、試験場（面接控室含む）外へ出ることはできません。体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には挙手をして監督者の指示に従ってください。
- ⑧ 試験当日、自家用車で来た場合には、第1駐車場又は第2駐車場（巻末の試験場案内図を参照）に駐車してください。
- ⑨ 一般選抜において、出願時にコピーを提出したTOEICのOfficial Score Certificate（公式認定証）の原本（令和3年9月1日以降に発行した認定証に限る）の確認を行いますので、試験当日必ず持参してください。また、出願時に公式認定証の提出できなかった受験者は、試験当日必ず公式認定証を持参し、提出してください。なお、**試験当日に原本が確認できない場合、口頭試問の受験を認めないことがあります**ので注意してください。

(4) 試験場

福井大学松岡キャンパス 看護学科棟（巻末の位置図及び試験場案内図を参照）

(5) 感染症に関する注意事項について

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻しん等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験は認められません。ただし、症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防対策を励行し、自己の健康管理を徹底するように注意してください。

なお、上記理由により受験できなかった場合、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

※感染症の状況に応じて変更する場合があります。変更となった場合は、本学ホームページの「受験者の方へ」内でお知らせします。

12 合格者発表

- ・令和6年度第1回入学試験 令和5年9月22日(金)10時
- ・令和6年度第2回入学試験 令和6年2月19日(月)10時

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「受験生の方へ」内に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。なお、電話等による照会には一切応じません。

13 入学手続

合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付します。入学手続に関するすべての事項は、合格者本人がこの入学手続要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった者は、本研究科への入学を辞退したものと取り扱います。

(1) 入学手続期間・方法

- ・令和6年度第1回入学試験 令和5年9月25日(月)～29日(金) 最終日17時必着
- ・令和6年度第2回入学試験 令和6年3月13日(水)～18日(月) 最終日17時必着

入学手続書類等は本学所定の封筒に入れ、郵送又は持参するものとします。

郵送の場合は、書留速達郵便とし、令和6年度第1回入学試験は令和5年9月29日(金)、第2回入学試験は令和6年3月18日(月)17時必着であることに十分配慮して送付してください。期限後に到着したものはいかなる理由があっても一切受理しないので、郵便事情等を考えて早めに送付してください。(期日前到着は可)

持参の場合は、入学手続期間(土日祝日を除く)の9時から17時に提出してください。

(2) 入学手続書類等の提出先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

(3) 入学手続時に要する経費

入学料 282,000円(予定額)

授業料 前期分 267,900円 年額 535,800円(予定額)

注：入学時及び在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」に記載します。

14 個人情報利用

出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備(学籍管理、履修準備含む)、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で

利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

(1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等，行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに，当該行政機関に個人情報を提供する場合

(2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で，当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお，この場合には，当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）

(3) 提出された出願書類等の個人情報を，当該本人の権利利益を不当に侵害する恐れがない範囲で，学術研究の目的のために提供する場合

(4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，合否及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る）を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に情報提供する場合

（問い合わせ先） 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

電話 0776-61-8830

II. 医学系研究科（修士課程）案内

1 目的

本学医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、専門分野の研究能力を高めるとともに、看護学の基盤となる幅広い領域の知識の修得及び実践・研究能力を育てることにより、高度な看護実践の専門職、教育・研究者を養成することを目的としています。

2 修業年限

2年を標準とします。

3 入学定員

12名

4 授業科目及び単位数

別表1（14ページ）のとおり

5 教育研究区別研究概要及び担当教員の連絡先

別表2（15ページ）、「5 募集教育研究区分・担当教員等（3ページ）」のとおり

6 長期履修制度

本学医学系研究科看護学専攻（修士課程）に入学しようとする者で、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて計画的に教育課程を履修することを希望する者は、合格後に本学学務部松岡キャンパス学務課（電話 0776-61-8241）に問い合わせてください。

7 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例

近年、大学院における社会人の再教育への要請が高くなっています。また、看護の現場における臨床経験、実践経験を有することは、看護学をより深く研究するために重要です。しかし、これらの有職者が大学院に進学するためには、その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、本学医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、これら有職者が離職することなく修学し、修了後には、現職機関において働き続けることが可能となるよう、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」による教育を実施します。

教育方法の特例を受ける者は、指導教員と相談のうえ、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受講を認めることがあります。

8 学位

(1) 授与学位は、修士（看護学）です。

(2) 修士の学位は、大学院に2年以上在学（休学期間は除く）し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格した者に授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

Ⅲ. 入学案内

1 入学料免除及び徴収猶予

入学料の納入が著しく困難であると認められる者に対して、申請資格のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除、又は徴収を猶予する制度があります。

①経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

②入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡もしくは失職（定年退職、自己都合退職を除く）した場合

③入学前1年以内において、入学する者又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

2 授業料免除及び徴収猶予

授業料の納入が困難な学生で、申請資格のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全部又は一部を免除、又は徴収猶予する制度があります。

①経済的理由によって納付期限までに授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

②入学前1年以内（入学後は各期の納期前6か月以内）において、学資負担者が死亡もしくは失職（定年退職、自己都合退職を除く）した場合

③入学前1年以内（入学後は各期の納期前6か月以内）において、学生又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

3 大学院入学時成績優秀による授業料免除

学校、官公庁、医療機関などに勤務している社会人にあつては、大学院入学時の成績が優秀な者、並びに、特別なプログラム等の入学者について、入学後1年間の授業料を半額免除する制度があります。

4 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構

人物、学業ともに優秀であり、経済的理由により修学が困難であると認められる者に対して、次の奨学金貸与の制度があります。

第一種奨学生（無利子）	月額 50,000 円, 88,000 円から選択
第二種奨学生（有利子）	月額 50,000 円, 80,000 円, 100,000 円, 130,000 円, 150,000 円から選択

5 保険制度

(1) 学生教育研究災害傷害保険

任意加入の保険です。教育研究活動（正課、学校主催行事、課外活動）、通学中などの災害事故に対する保険制度で、教育研究活動・通学中に生じた不慮の事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。

(2) 学研災付帯学生生活総合保険

日常生活における傷害はもとより、他人に対する傷害、財物の損壊などの賠償責任に対し、保険金が支払われます。

この保険は、(1)の学生教育研究災害傷害保険に加入が条件となります。

2023年度 授業科目一覧表

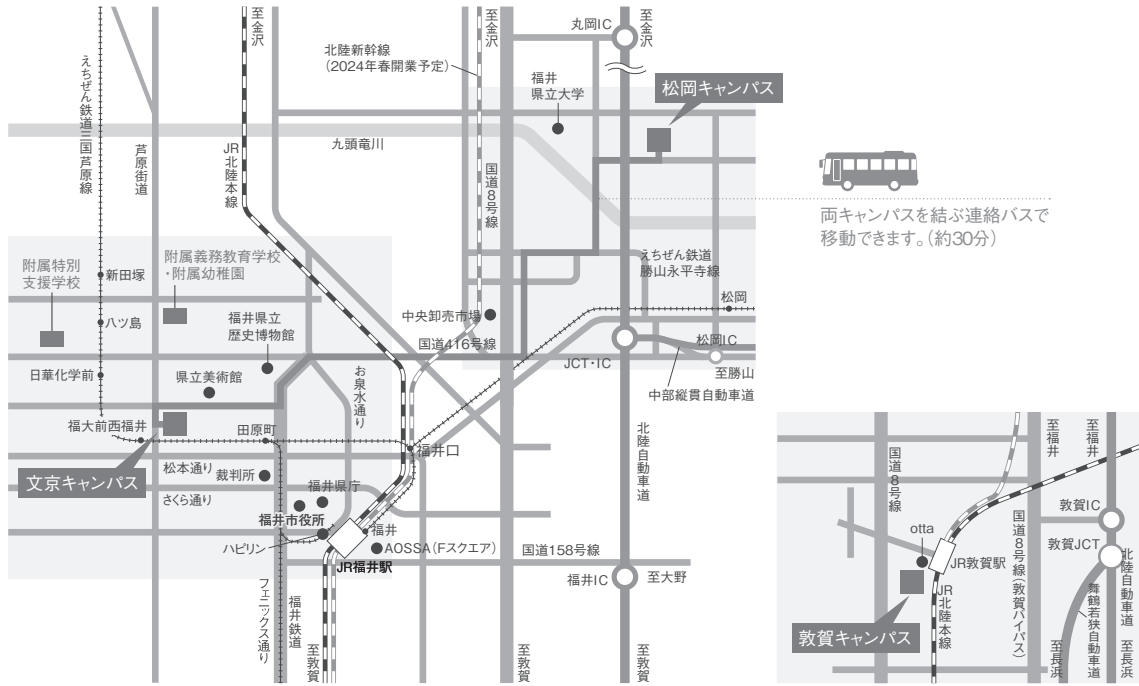
教育 区分 研究	授 業 科 目	配当 年次	開設 単位	履修時間数			学生の所属教育研究区分						CNS学生			単位修得	
				講 義	演 習	実 習	基 礎	成 人	災 害	地 域	老 年	母 子	が ん	災 害	老 年		
共通科目	看護研究	1	2	30			●	●	●	●	●	●	△	△	△	指導教員の指導により下記のとおり修得しなければならない。 ●科目は必修 △科目から10単位以上選択 ☆どちらか一方、または両方を選択	
	看護倫理	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	看護理論	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	看護教育論	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	看護管理論	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	看護政策論	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	コンサルテーション論	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	ヘルスアセスメント	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	●	●		●
	病態生理学	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	●	●		●
臨床薬理学	1.2	2	30			△	△	△	△	△	△	△	●	●	●		
専門科目	看護学 基礎看護学	基礎看護学特論	1	2	30			●	△	△	△	△	△			基礎看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●基礎看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得	
		基礎看護学演習	1	4	120			●									
		基礎看護学特別研究	2	12	360			●									
	看護学 成人看護学	成人看護学特論	1	2	30			△	●	△	△	△	△			成人看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●成人看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得	
		成人看護学演習	1	4	120				●								
		成人看護学特別研究	2	12	360				●				☆				
	看護学 災害看護学	災害看護学特論	1	2	30			△	△	●	△	△	△			災害看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●成人看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得	
		災害看護学演習	1	4	120					●							
		災害看護学特別研究	2	12	360					●			☆				
	看護学 地域看護学	地域看護学特論	1	2	30			△	△	△	●	△	△			地域看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●地域看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得	
		地域看護学演習	1	4	120					●							
		地域看護学特別研究	2	12	360					●							
看護学 老年看護学	老年看護学特論	1	2	30			△	△	△	△	●	△			老年看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●災害看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得		
	老年看護学演習	1	4	120						●							
	老年看護学特別研究	2	12	360						●		☆					
看護学 母子看護学	母子看護学特論	1	2	30			△	△	△	△	△	●			母子看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●母子看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得		
	母子看護学演習	1	4	120							●						
	母子看護学特別研究	2	12	360							●						
専門看護師教育課程(CNS)	がん看護	がん看護学特論Ⅰ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●		地域看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●地域看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得	
		がん看護学特論Ⅱ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
		がん看護学特論Ⅲ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
		がん看護学特論Ⅳ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
		がん看護学特論Ⅴ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
		がん看護学演習Ⅰ	1	2	60									●			
		がん看護学演習Ⅱ	1	2	60									●			
		がん看護学実習Ⅰ	2	2	90									●			
		がん看護学実習Ⅱ	2	2	90									●			
	災害看護	がん看護学実習Ⅲ	2	4	180									●		老年看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●老年看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得	
		がん看護学実習Ⅳ	2	2	90									●			
		がん看護学課題研究	1・2	2	60								☆				
		災害看護学特論Ⅰ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
		災害看護学特論Ⅱ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
		災害看護学特論Ⅲ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
		災害看護学特論Ⅳ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
		災害看護学演習Ⅰ	1	2	60									●			
		災害看護学演習Ⅱ	1	2	60									●			
	老年看護	災害看護学演習Ⅲ	1	2	60									●		* 専門看護師教育課程を専門とする学生の履修等に関しては別に定めるが、併せて修士の学位取得のため、☆課題研究(または特別研究)を修得	
		災害看護学実習Ⅰ	2	2	90									●			
		災害看護学実習Ⅱ	2	3	135									●			
		災害看護学実習Ⅲ	2	2	90									●			
		災害看護学実習Ⅳ	2	3	135									●			
		災害看護学課題研究	1・2	2	60									☆			
老年看護学特論Ⅰ		1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
老年看護学特論Ⅱ		1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
老年看護学特論Ⅲ		1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
老年看護学特論Ⅳ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●					
老年看護学特論Ⅴ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●					
老年看護学演習Ⅰ	1	2	60									●					
老年看護学演習Ⅱ	1	2	60									●					
老年看護学実習Ⅰ	1	2	90									●					
老年看護学実習Ⅱ	2	4	180									●					
老年看護学実習Ⅲ	2	4	180									●					
老年看護学課題研究	1・2	2	60									☆					

※CNS学生は専門看護師教育課程のこと。

教育研究概要

教育研究区分	研究概要	
基礎看護学	<p>看護ケアの質の評価、看護者と患者のかかわりのプロセス、看護者の健康管理に関する問題、健康障がいと保健行動、看護援助のプロセスの中で生じている看護現象、援助技術の科学的根拠など基礎看護学領域に関する課題について、量的、質的に研究する。</p> <p>看護の対象である人間の身体的、精神・心理的、社会的側面から評価する為のアセスメントツールの開発をする。また、看護ケアが及ぼす生理的・心理的效果について実験研究を通して科学的・心理学的評価を行う。</p>	
成人看護学	<p>身体的健康問題もしくは精神疾患をもつ成人期にある人及びその家族を対象とした看護について、発達理論、セルフケア理論、危機理論、ストレス・コーピング理論、精神力動理論、そして対人関係理論などの主要理論を基盤に探求する。</p> <p>主要課題は、成人期にある人の健康問題と健康管理行動の認識と構造、セルフケア理論を活用した健康ケアとその効果、慢性的な健康障がいにおける対象の生活の質、手術・救急などクリティカルな健康障がいにおける対象の特性と援助プロセス及びその効果、精神看護学領域における中範囲理論の構築、並びに個人及び集団を対象とした看護介入と評価である。</p>	
災害看護学	<p>災害が社会の変化や地域の人々の暮らしと密接に関係しながら、人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し、社会における看護の役割を果たすために必要な災害各期の看護活動を探求する。災害時の諸問題にアプローチする実践的な援助方法や被災者および支援者が抱える諸問題や看護介入について研究する。</p>	
地域看護学	<p>地域に在住する乳幼児から老人までのさまざまなライフステージの人々を対象者として、ヘルスプロモーション、疾病予防、疾病の回復促進、リハビリテーション、QOLの向上のための看護支援を探究する。</p> <p>地域住民の健康レベルは健康な人から疾病・障がいをもって生活する人まで多様である。それらの人々が個人、家族、グループとして最大限に健康を達成するための効果的な地域ケアシステムの構築と評価、在宅看護支援及び介護者支援、家族支援について探究する。</p>	
老年看護学	<p>高齢者を取り巻く急激な環境の変化の中で、高齢者が自分らしい生活の維持やQOL向上を獲得するための援助、高齢者の個別性を尊重し、自律に向けたセルフケア及び家族参加を含めた援助方法を探求する。さらに、ライフサイクルにおける高齢期や高齢者を特徴づける現象や障がいに視点を置き、加齢現象、社会的背景、倫理的側面を考慮した看護実践を研究する。</p>	
母子看護学	<p>母子を取り巻く健康問題、母子の心身の健全な育成、周産期における母子の看護支援、助産師活動とケアの質の評価、更年期にある人の健康問題など、母子看護学に関連した研究課題について、女性と家族のライフサイクルの視点で探究する。</p> <p>また、胎児期からの小児の疾病について医学的側面から教授し、小児期の慢性疾患を有する患者とその家族が直面する医療上の問題を検討、地域保健の視点をも含めた問題解決法について研究する。</p>	
専門看護師教育課程(CNS)	がん看護	<p>がん看護に関する病態生理、診断、治療の原理と最新情報、がん看護の基盤となる看護理論、看護援助論などの専門的な知識を深め、高度な知識・技術を用いて、がん治療に伴う看護、がん患者の苦痛・苦悩に対する看護、治療後の生活調整支援など、がん患者及び家族のQOLの向上のための看護援助を科学的に探求する。さらに、がん医療を取り巻く健康上の諸問題に関して、看護学の視点から実証的な研究を行う。</p>
	災害看護	<p>災害による人々の健康や生活への影響、被災者特性、活動現場特性を踏まえ、各災害サイクルにおける被災者に対する援助方法を探求する。行政・住民組織・他職種・ボランティア等との連携・協働・必要時組織化の重要性を理解し、災害時の人々の生活と健康支援に向けて、社会システムや医療・看護ケア提供体制を検討する。個人・家族・組織・地域における防災・減災に向けた諸活動、人々の危機管理意識を啓発する諸活動について人間科学の視点から探求する。</p>
	老年看護	<p>歴史的・社会的存在としての高齢者の理解を深め、老化過程や生活の営みに関連する健康問題に対してサクセスフルエイジングを主要概念とした援助方法や、高齢者の価値観や個性に着目し、高齢者がその人らしく生活するための支援や、認知症高齢者と家族への支援など探究する。高齢者のセルフケア能力の開発に貢献するケア方法、高齢者と家族が有する多様なニーズ、課題への創造的・先駆的に取り組みにむけた実証的な研究を行う。</p>

福井大学位置図



両キャンパスを結ぶ連絡バスで移動できます。(約30分)



■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄道 JR 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バス JR 福井駅(約10分)→福井大学前下車 [JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅→福大前西福井駅下車 [JR 福井駅東口から出て三国芦原線で約10分] *西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR 福井駅(約10分)→福井大学文京下車 [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km 福井ICから国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バス JR 福井駅(約35分)→福井大学病院前下車 [JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅→松岡下車 バスに乗り換え約5分 [JR 福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス] *西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR 福井駅(約30分)→福井大学松岡下車 [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km *標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都-湖西線経由-福井 (特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車で 大阪・京都-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都-<名神・北陸>-福井 (京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

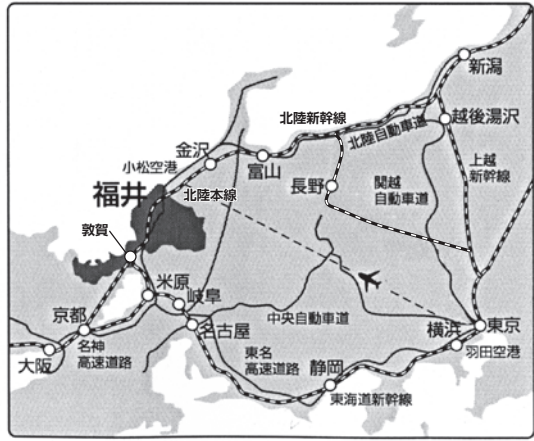
- JRで 名古屋・静岡-米原経由-福井 (名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車で 名古屋-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (約2時間)
- 高速バスで 名古屋-<名神・北陸>-福井(約2時間50分)

東京方面から

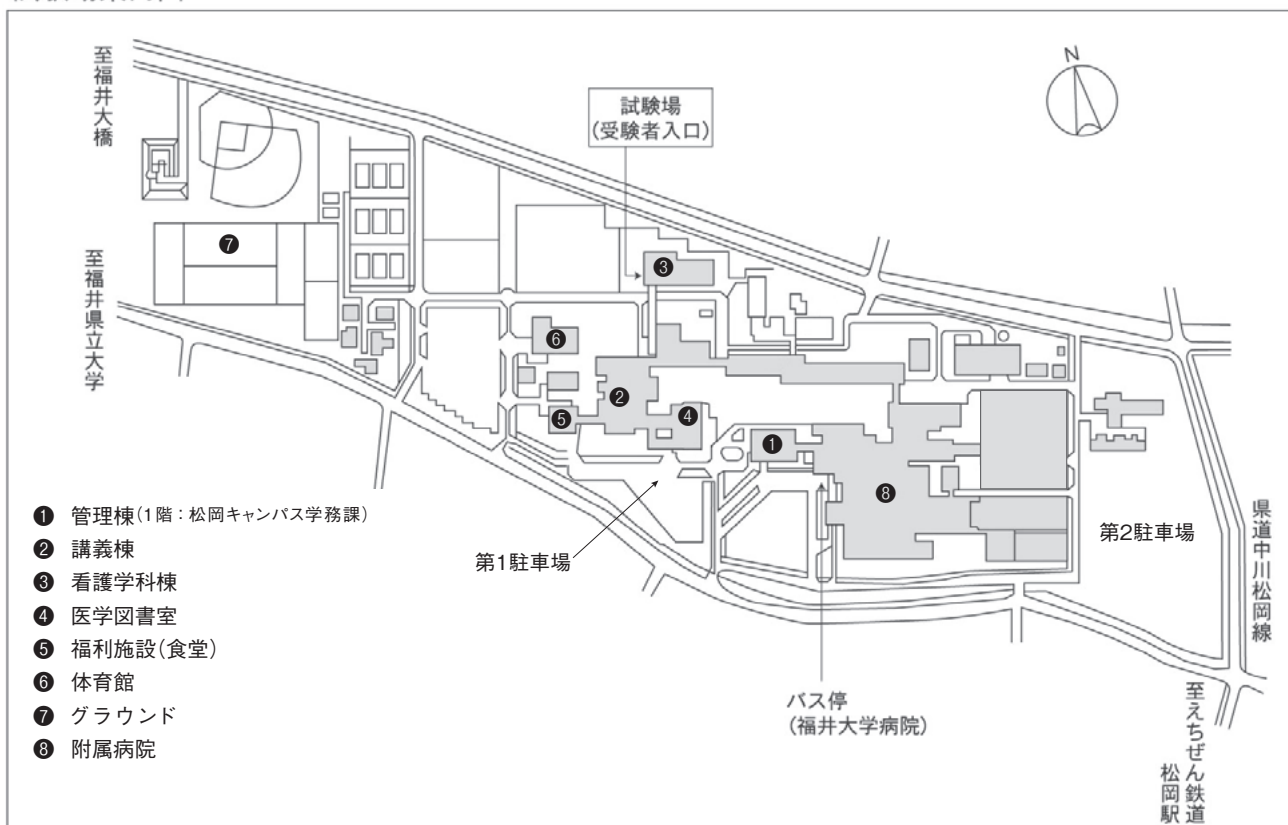
- 飛行機で 東京羽田-小松空港(1時間)-福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京-米原経由-福井(新幹線・特急約3時間30分) 東京-金沢経由-福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車で 東京-<東名・名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (約6時間30分) ※高速バスもあります。

金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟-福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車で 金沢-<北陸>-丸岡-福井北JCT・IC(約1時間)



試験場案内図



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部 松岡キャンパス学務課入試担当

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電話 0776-61-8830

〈注意〉

- 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- 受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。 [福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金の9:00～17:00 に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。

令和6年度 福井大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）
出願資格認定申請書

福井大学長 殿

貴大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）の入学者選抜試験に出願を希望します。
 ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

令和 年 月 日

フリガナ

氏 名

昭和・平成 年 月 日生（満 才）

志望する教育 研究区分	基礎看護学 地域看護学 がん看護（CNS）	成人看護学 老年看護学 災害看護（CNS）	災害看護学 母子看護学 老年看護（CNS）
指導教員	教授		
審査結果の先 連絡	〒 (電話番号 - -) E-mail:		
区分	年 月	履 歴 事 項	
学 歴	昭・平・令 年 月	立 高等学校 卒業 中等教育学校	
	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		
職 歴	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		
免 許 ・ 資格等	昭・平・令 年 月		
	昭・平・令 年 月		

（注）裏面の「記入上の注意」を参照し、正しく記入してください。

学会及び社会における活動経験等

【記入上の注意】

- 1 青又は黒のボールペンを使用（消せるボールペンは使用不可）し、楷書で記入するとともに、該当事項を○で囲んでください。
- 2 氏名は自署とし、戸籍のとおり記入のうえ、フリガナを付けてください。
また、外国人の場合は、必ず「外国人登録原票記載事項証明書」又は「在留カード」記載の氏名を記入し、フリガナを付けてください。
- 3 審査結果の連絡先は、番地、棟番号、戸番まで正確に記入してください。
- 4 履歴事項については、次のとおり記入してください。記入欄が不足する場合は、別紙に記載し、添付してください。この用紙には貼り付けないでください。
 - ① 学歴欄は、高等学校卒業以降の学歴を自宅学習や予備校学習も含め、空白期間のないように記入してください。ただし、外国人の場合は小学校入学から記入してください。
 - ② 職歴欄は、看護領域等が分かるように勤務部署、職名等まで詳細に記入してください。
また、家事手伝いや無職の期間も記入し、学歴欄同様に空白期間のないように現在に至るまで記入してください。
 - ③ 免許・資格等欄は、取得年月及び免許・資格等の名称を記入してください。
 - ④ 学会及び社会における活動経験等欄は、経験がある場合は、その概要について記入してください。

令和6年度 福井大学大学院医学系研究科
看護学専攻（修士課程）入学志願票

出願日：令和 年 月 日

受験番号

※

受験区分	第1回 ・ 第2回 ・ ()			出願前3か月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真を貼付してください。 (縦4cm×横3cm)
選考区分	一般選抜 ・ 社会人特別選抜			
フリガナ		性別	男 ・ 女	
氏名		年齢	歳	
生年月日	昭和・平成 年 月 日			
志望する教育研究区分	基礎看護学 地域看護学 がん看護 (CNS)	成人看護学 老年看護学 災害看護 (CNS)	災害看護学 母子看護学 老年看護 (CNS)	
指導教員	教授			
出願資格	大学	立 大学	学部	学科
		昭和 平成 令和	年 月	卒業・卒業見込
	その他	*令和6年4月1日時点での見込み 看護実務経験年数 年 月 (社会人特別選抜のみ)		
免許取得年月 及び 免許番号	看護師	昭和・平成・令和	年 月	(免許番号)
	保健師	昭和・平成・令和	年 月	(免許番号)
	助産師	昭和・平成・令和	年 月	(免許番号)
現住所	〒 (電話番号 - -)			
	E-mail:			
連絡先 (合格通知先)	〒 (電話番号 - -)			
	E-mail: <input type="checkbox"/> 現住所と同じ			

- (注) 1. 出願に当たっては、志望する教育研究区分の担当教員と相談のうえ、提出してください。
2. 裏面の「記入上の注意」をよく読んで正しく記入してください。

履 歴 事 項

		氏 名
区分	年 月	事 項
学 歴	昭・平・令 年 月	立 高等学校 卒業 中等教育学校
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
職 歴	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
学会及び社会における活動経験等		

【記入上の注意】

- 1 青又は黒のボールペンを使用(消せるボールペンは使用不可)し、楷書で記入するとともに、該当事項を○で囲んでください。
- 2 ※印の欄は記入しないでください。
- 3 氏名は戸籍のとおり記入し、フリガナを付けてください。
また、外国人の場合は、必ず「外国人登録原票記載事項証明書」又は「在留カード」記載の氏名を記入し、フリガナを付けてください。
- 4 現住所等は、番地、棟番号、戸番まで正確に記入してください。
- 5 履歴事項については、次のとおり記入してください。記入欄が不足する場合は、別紙に記載し添付してください。
この用紙には貼り付けしないでください。
 - ① 学歴欄は、高等学校卒業以降の学歴を自宅学習や予備校学習も含め、空白期間のないように記入してください。
 - ② 職歴欄は、看護領域等が分かるように勤務部署、職名等まで詳細に記入してください。
また、家事手伝いや無職の期間も記入し、学歴欄同様に空白期間のないように現在に至るまで記入してください。
 - ③ 学会及び社会における活動経験等欄は、経験がある場合は、その概要について記入してください。

令和 6 年度
福井大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）受験票

受験区分	第1回 ・ 第2回 ・ ()	写真貼付欄 正面向き，無帽，上半身，無背景で出願前3か月以内に撮影したものを全面のり付けして貼付してください。 縦4cm×横3cm
選考区分	一般選抜 ・ 社会人特別選抜	
受験番号	※	
フリガナ		
氏名		
志望する教育研究区分		

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 受験区分，選考区分欄は，該当事項を○で囲んでください。
 3 本用紙は必ずA4サイズで印刷してください。

-----切-り-離-さ-な-い-こ-と-----

令和 6 年度
福井大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）写真票

受験区分	第1回 ・ 第2回 ・ ()	写真貼付欄 受験票と同一の写真を全面のり付けして貼付してください。
選考区分	一般選抜 ・ 社会人特別選抜	
受験番号	※	
フリガナ		
氏名		
志望する教育研究区分		

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 受験区分，選考区分欄は，該当事項を○で囲んでください。
 3 本用紙は必ずA4サイズで印刷してください。

研究計画書

フリガナ		受験番号	※
氏名			
志望する研究のテーマ			
研究の目的、動機、内容について記述してください。（1,200字以内）			

- (注) 1. ワードプロ作成可、フォントサイズは10.5p～12pを使用してください。（A4サイズ1枚）
2. ※印の欄は記入しないでください。

受験番号	※
------	---

受験許可証

氏名

昭和
平成 年 月 日生

上記の者が、令和6年度福井大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）の入学者選抜試験を受験することを許可します。

なお、本人が貴大学大学院に入学した場合は、在職のまま在学することを認めます。

令和 年 月 日

福井大学長 あて

所在地

所属機関

所属長

⑩

※印の欄は、記入しないでください。

速 達

郵便局の
窓口から
郵送して
ください

9 1 0 - 1 1 9 3

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月二二二―三

福井大学 学務部

松岡キャンパス学務課 入試担当 行

書留速達

令和6年度 福井大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）出願書類 在中

出願期間最終日 17時必着
(最終日 2日前消印の書留速達は無効)

志願者	氏名	
	住所	〒